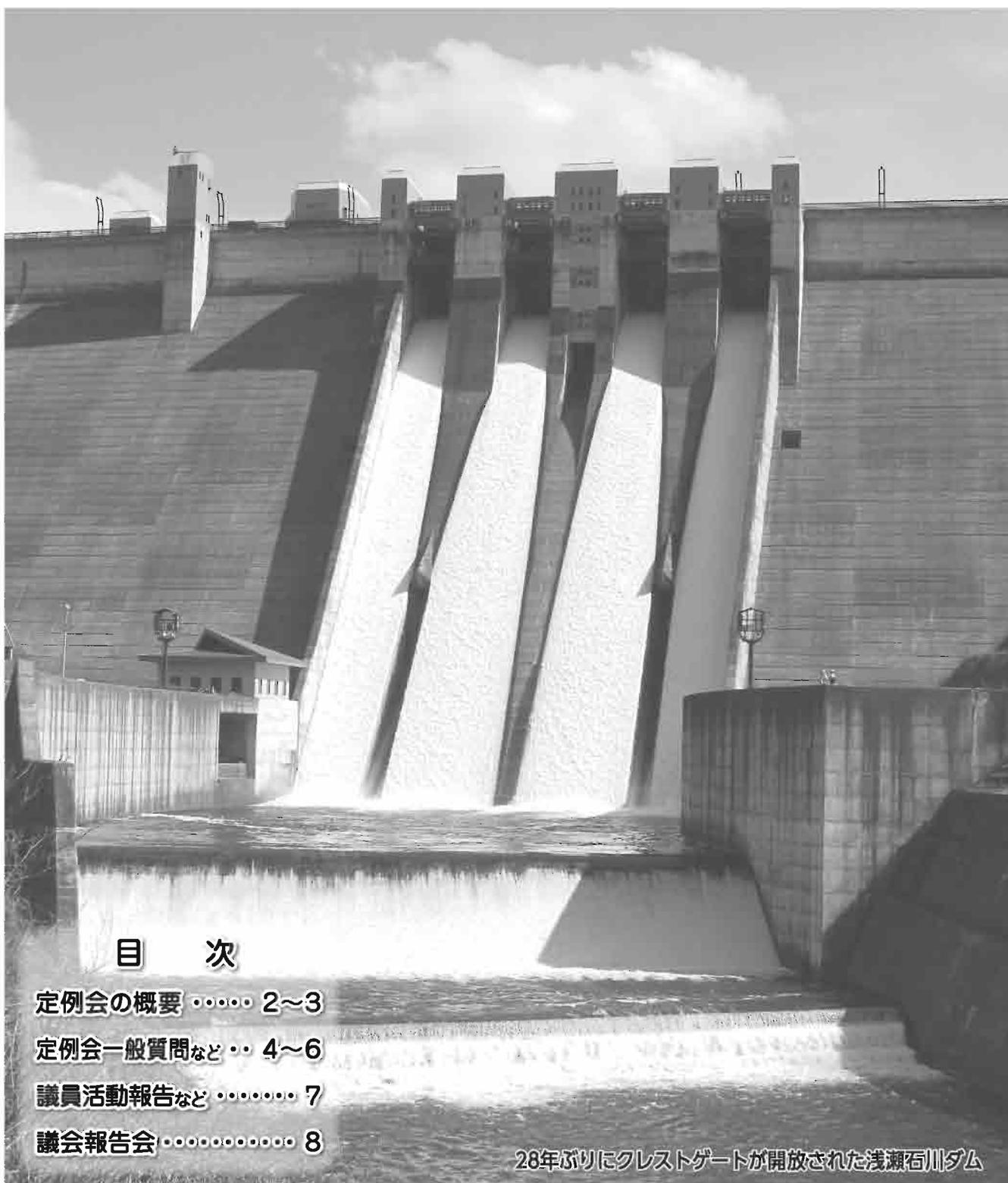


あくろいし 市議会だより



第13号
平成28年6月1日発行



目次

- 定例会の概要 …… 2～3
- 定例会一般質問など … 4～6
- 議員活動報告など …… 7
- 議会報告会 …… 8

28年ぶりにクレストゲートが開放された浅瀬石川ダム

平成28年第1回定例会の概要

平成28年第1回定例会は3月2日から17日までの16日間にわたって開かれ、市長提出の6報告・49議案、議員提出の2議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・同意・可決した他、青森オリンパス株式会社（高村幸治代表取締役）から提出された「都市計画に計画されている道路の早期建設に関する陳情」を全会一致で採択しました。

また、3月2日に全議員で構成される予算特別委員会が設置され、委員長に村上隆昭委員、副委員長に工藤和行委員を選任し、平成28年度一般会計、各特別会計、各企業会計、各財産区会計予算の審査を行いました。

各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は下記をご覧ください。

平成28年度黒石市一般会計予算に対する討論

反対討論

市民負担が軽減されない内容があります。例として、子育て施策では、子どもの医療費無料化、保育料の限度額、児童扶養手当、就学援助制度に関する問題が改善されていません。その上、学校給食もない、黒石病院で出産もできない、小児科への入院もできない状況では子育て世代が暮らしやすい条件にないと思います。

また、地方創生では、食ビジネスの担い手確保事業、地産地消に向けた商品開発事業、販売力強化事業などの先を見越して行うべき事業、産業のありかた、雇用の計画などに不安が感じられるため、平成28年度黒石市一般会計予算に反対するものであります。

賛成討論

まず、新年度予算が財政調整基金の取り崩しをすることなく編成されたことは、評価に値するものであります。

さらに、依然として厳しい財政環境が続く中で、予算の配分を工夫し、市民の福祉向上と、必要な社会資本の整備などが盛り込まれており、評価できるものと思っております。

また、「黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な実施と、市の活性化が大いに期待できる予算であること、行政の効率化、財政の健全化への取り組みも後退することなく図られていることから、平成28年度黒石市一般会計予算に賛成するものであります。

賛成多数により原案可決

第1回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
報告第1号	黒石市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	報告
報告第3号	特別災害による被害者に対する市税減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	承認
報告第4号	黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	承認
報告第5号	権利の放棄について	○	○	○	○	○	報告
報告第6号	黒石病院診療費請求事件に関する和解について	○	○	○	○	○	報告



番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
議案第1号 ↳ 議案第3号	黒石市行政不服審査法施行条例、行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例、黒石市職員の退職管理に関する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号 ↳ 議案第22号	黒石市部設置条例、黒石市附属機関の設置に関する条例、黒石市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例、黒石市職員の勤務時間、休暇等に関する条例、黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例、黒石市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例、黒石市特別職の職員の給料等に関する条例、黒石市教育委員会教育長の給与等に関する条例、黒石市国民健康保険黒石病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例、黒石市一般職職員の給与に関する条例、黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例、黒石市職員等の旅費に関する条例、黒石市特別会計条例、黒石市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例、黒石市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例、黒石市落合共同浴場条例、黒石市黒森山ウォーキングセンター条例、黒石市立学校設置条例、黒石市国民健康保険黒石病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	弘前地区環境整備事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同 意
議案第25号	平成27年度黒石市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	平成27年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	平成27年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	平成27年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	平成27年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	平成27年度黒石市簡易水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	平成27年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	平成28年度黒石市一般会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第33号	平成28年度黒石市国民健康保険特別会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第34号	平成28年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	平成28年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	平成28年度黒石市介護保険特別会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第37号 ↳ 議案第40号	平成28年度黒石市簡易水道、黒石市温泉供給事業、黒石市農業集落排水事業、黒石市土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号 ↳ 議案第43号	平成28年度黒石市国民健康保険黒石病院事業、黒石市水道事業、黒石市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号 ↳ 議案第49号	平成28年度黒石市中川財産区、黒石市上十川財産区、黒石市追子野木財産区、黒石市温湯財産区、黒石市袋財産区、黒石市南中野財産区会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第1号	黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第2号	無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第1号	都市計画に計画されている道路の早期建設に関する陳情	○	○	○	○	○	採 択



第1回定例会一般質問

一般質問は、3月9・10日の2日間行われ、10人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



新政会
三上 廣大 議員
(二問一答方式)

問 旧大黒アパート建物適正管理に関して、これまで回答不要の文書を建物所有者へ送付したとのことだが、今後の対応は。

答 今後、所有者による適正な管理がされない場合、空き家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づき、現在行っている文書送付による助言の他、指導、勧告、命令をし、それに従わない場合は行政代執行となるものと考えています。

問 当市の主権者教育の取り組みについて、ごども議会実施の考えはあるか。また、実施までの詳しい日程は考えているか。

答 当市では、中学校の学習内容と関連させて中学校3年生を対象としたごども議会の実施を考えています。日程については、今後各中学校との調整が必要となりますが、教育委員会としては、平成29年10月をめどに半日程度の日程で実施する予定で考えています。



自民・公明クラブ
工藤 和行 議員
(二問一答方式)

問 小学校の統合校舎新築場所や給食施設計画の決定時期はいつになるのか。

答 平成27年12月の議会終了後、庁内に「学校給食に関する調整会議」を発足させ、教育委員会と関係課が一緒になって対応しています。小学校の適正配置と給食実施を並行して検討しており、学校建築計画および学校給食の実施方法については4月中旬に決定したいと考えています。

問 平成28年度予算概要と今後の展望について、28年度予算に小学校基本設計が計上されたが、大型事業として優先したと考えてよいのか。

答 学校建設は国庫補助金の関係で早めに熟度を上げる必要と、現実に近い事業費と財源構成を検討する必要があることから、28年度で基本設計に取りかかるもので、開校までのスケジュールに沿ったものです。建物整備に加え老朽化した既存施設への対応やラ



自民・公明クラブ
中田 博文 議員
(二問一答方式)

ンニングコストなど考慮すべき要素が多く、実現に向けた検討は絶えず行っていますが、現段階でそれを優先するとは明言できない事を理解していただきたいと思います。

問 黒石市庁舎耐震診断の結果について、震度6強以上の大地震で倒壊が崩壊する危険性があることがわかったが、その対応は。

答 安全の確保を最優先に考え、財政状況もありますが、庁内に検討委員会を設置してあらゆる可能性を模索したいと考えています。また、庁舎の軽量化を図り避難訓練の強化充実に努めます。

問 ふるさと納税について、平川市は1億3000万円以上、当市は1000万円、抽選をやめ返礼品の充実を図るなど、寄附金額をふやすための取り組みは。

答 抽選については取りやめることとし、協賛事業者を募るなど、返礼品の充実を図りたいと思います。



黒石市民クラブ
佐々木 隆 議員
(一括方式)

問 今後3年間の起債償還の推移は。

答 実質公債費比率は、平成29年度までは20割台と高止まりですが、30年度決算では18割台まで低下すると想定しています。31年度には18割を切る可能性もあります。起債の元利償還額は、28年度が20億5000万円、29年度が17億2000万円、30年度は16億5000万円程度となる予定です。財政調整基金は、29年度以降も取り崩さない考えです。

問 黒石病院について、診察待ち時間の現状と解消策は。

答 混雑解消のために登録医制度や予約制などを講じていますが、救急患者等の対応により、混雑することが多々あります。4月から若干名の医師が確保できますが、さらなる医師確保に努めます。

問 黒石の歴史・文化の伝承について、史料館を建設できないか。また、こみせ駅や松の湯交流館を活用する考えは



あるか。

○ 当市には数多くの文化財があります。また、歴史的人物を多数輩出しています。これらを紹介する場合は必要と考

えていることから、今後進む小・中学校の適正配置による空き校舎の利用方法として検討していきます。こみせ駅2階の秋田雨雀記念館のPRや、松の湯交流館を活用し、歴史や文化に関する展示などを行うことで、市民や観光客に喜んでもらえるよう調整していきます。

○ 幼少期から黒石の歴史について理解を深めてもらうため、また、観光PRのために、黒石の歴史・文化を題材としたかるたの制作をする考えはないか。

○ 制作に向けて、市民や観光客の皆さんから読み札の募集をしたいと考えています。



自民・公明クラブ
工藤 俊広 議員
(二問一答方式)

○ 平成28年度予算編成について、市長の考え方は。

○ 収支の均衡を図ることを基本に歳出の削減に努めまし

た。マイナス3割シーリングを目標にしたことで財政調整基金の取り崩しを行わずに、補助事業をうまく取り入れた予算編成ができました。

○ 公共施設等の総合管理計画の策定状況は。

○ 現在整備を進めている固定資産台帳を活用して、平成28年度中の策定を行う予定です。

○ 庁舎の軽量化を図るために現在想定される移転先は。

○ 現在空いているスペースとしては、産業会館の観光協会があったところや消防庁舎の2階などがあります。

○ 公営住宅建設事業とはどういった内容なのか。

○ 平成28年度は、あけぼの町団地に2LDKの住宅と3LDKの住宅、集会所の建設を計画しています。システムバス、手すりを設置し、バリアフリーの住宅とします。34年度から元利償還が始まります。

○ 六郷小学校給食用厨房爆発事故の再発防止策は。

○ 学校の要覧に、点検作業等の実施は児童生徒のいない日時に徹底するとの規定を盛り込みたいと考えています。



高佑会
高橋美紀子 議員
(二問一答方式)

○ 学校給食について、実施委員会の設置と今後の流れはどうかについて。また、小・中学校同時実施の可能性は。

○ 庁内関係課で組織する小・中学校適正配置庁内連絡会議の中に調整会議を設置し、実施方式の最善の手法を協議中です。平成28年4月中に方式を決定、秋に次年度の予算要求、29年度から基本設計、実施設計、建設、32年度実施という流れです。小学校の給食実施未実施の不公平を解消することを最優先とするため、さらなる施設整備を必要とする中学校給食実施は現時点では考えていません。

○ 空き家対策について、現状把握、利活用の取り組みは。

○ 現在、約8割の町内会から寄せられた適正な管理がされていない218件の空き家情報を基に、約140件の現地調査が完了しました。空き家の適正管理、有効活用等については、青森県居住支援協議会に参画し協議を進めます。

〈その他の質問〉

青森空港と中国との新路線、北海道新幹線開通に関する市の対応は。インバウンド誘客、日本遺産申請、ふるさと納税、それぞれの取組は。平成27年度のいじめの件数と対処は。いじめ対策審議会とは。



自民・公明クラブ
大溝 雅昭 議員
(二問一答方式)

○ インバウンド観光は成長産業であり地域活性化のキーワードになる。地域連携を含む市の対応策は。

○ 現在、市内数カ所で無料WiFiスポットを設置しており、いくつかの施設では海外向けのパンフレットを作成していると同っています。また、多言語対応アプリの導入も考えています。県や弘前市、平川市、田舎館村などとも連携を深め、これまで点として存在していた観光コンテンツを線に、さらには面へと広げ、津軽観光エリアの情報発信にも努めます。

○ 「障害者差別解消法」が4月1日に施行されるが、発達障害児童生徒の現状と支援

に求められる機能と役割は。

○ 通常の学級で発達障害の可能性のある児童生徒の割合は推定で6・5割という調査結果があり、当市の就学指導委員会では3年間で42件の診断をしています。また、中郷小学校の通級指導教室は年間50人以上が利用しています。法律の施行により、各学校では障害のある子どもへの配慮がより求められます。当市では学校訪問や研修会等を行う他、支援員を配置し、特別支援教育の充実に努めます。



日本共産党
工藤 禎子 議員
(二問一答方式)

○ 子どもの医療費無料化について、県内40市町村のうち当市の対象年齢が一番低い。県内では就学前までが4市町あり、一年ごとに対象年齢が引き上がっている。国の対応待ちにならず、当市でも対象年齢を引き上げるべきでは。

○ 当市の財政を考えると、容易に拡充はできない状況です。今後も重点要望事項として国・県に強く要請します。

○ 保育料軽減のために基準



額表階層区分の細分化と、10市で一番高い3才以上児限度額の引き下げはできないか。

さまざま項目について協議し、その結果については教育委員会へ報告してもらうことになっており、学校名については「黒石中学校」とすることが報告されています。

子ども貧困が6人に1人といわれる中で就学援助制度の利用を広げる必要があると考える。申請用紙を保護者に渡して提出させることや、制度の対象となる収入の目安を用紙に記入するなどの工夫をし、制度を普及すべきでは。

統合後の通学距離が、原則として片道4キロ以上の生徒を対象にスクールバスを運行することとしており、現在路線バスの活用を含め、バス運行会社と協議を継続しています。生徒の安全面に関しては、最大限配慮していきます。

さまざまな方法で周知に努めているだけでなく、学校と教育委員会はいつでも相談できる体制をとっています。周知方法については必要に応じて検討します。

廃校校舎の活用については、現在、小・中学校適正配置庁内連絡会議において、さまざまな利活用に対するアイデアを調査しているところであり、決定までには至っていません。

廃校校舎の活用する考えはあるか。

現在、西十和田トンネル建設だけでなく、各エリアで要望している道路の建設や整備促進をはじめ、商工および観光分野などの要望・課題を包括的に捉えながら必要性を訴えていくことで、少しずつでもそれぞれの要望が進展していくのではと考えます。そのためにも、期成同盟会構成市町村の連携に加え、青森・秋田両県の十和田湖周辺市町村や関係団体への連携強化を働きかけ、国道454号期成同盟会と連携しながら広域的かつ官民一体となった要望活動を展開していきたいと考えています。



自民・公明クラブ
今 大介 議員
(一括方式)

中学校統廃合について、学校名決定の経緯は。

中学校の統合にあたっては、黒石、六郷、東英の3中学校から代表者5人ずつ、あわせて15人で構成する統合準備委員会が設置されています。



自民・公明クラブ
村上 啓二 議員
(一括方式)

西十和田トンネルについて、これまで建設に向けてさ

議会 豆知識

● 政務活動費

議員の市政に関する調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として交付されるものです。政党活動、選挙活動、後援会活動、私的経費には使用することができません。

当市では、平成16年度まで政務調査費という名称で議員一人当たり月額3万円交付されていましたが、一度廃止され、26年度から政務活動費となつています。

して議員一人当たり月額1万円交付されています。

政務活動費の交付を受けた議員は、領収書またはこれに準ずる書類を添付して、政務活動費に係る収支報告書を作成し、議長に提出することが義務づけられ、残金は返還することになっています。

県内市議会の議員一人当たりの交付月額額は、青森市が9万円、弘前市が5万円、八戸市が8万円、五所川原市が3万円、十和田市が3万円となつています。

項目別充当指針	
項目	内容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
公聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動	議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費



●議員活動報告

自民・公明クラブ

(工藤 俊広・工藤 和行)
(今 大介・村上 啓二)

視察先

群馬県安中市
(H28年2月16・17日)

【重要文化財と自然を生かした観光事業の視察】について

群馬県安中市は旧中山道宿場と碓氷峠鉄道遺産を重要な観光資源として活用を図っています。明治44年に国鉄が日本で初めて造り、峠を鉄道で行き来するための電力供給の役割を果たした丸山変電所と、明治25年に完成した日本最大の煉瓦造りの4連アーチ式鉄道橋は国の重要文化財に指定されています。廃線となった鉄道跡は、国の重要文化財を含む約13^{km}を自然の景色と歴史を感じることでできる4時間のハイキングコースとして観光スポットになっています。

当市にも歴史を感じることで、「中町伝統的建造物群保存地区」や「金平成園」などの文化財や中野もみじ山、ダム湖などの観光スポットがあるため、浅瀬石川沿いのウォーキングコースを観光スポットと連動させることで安中市と似たような観光の取り組みが可能ではないかと感じました。当市の魅力をさらに発信できるように、今後の観光事業に役立てていきたいと思っています。



●議員活動報告

高佑会

(高橋美紀子)

視察先

群馬県富岡市
群馬県桐生市
(H28年2月27・28日)

【世界遺産富岡製糸場・桐生新町重要伝統的建造物群保存地区の視察】について

世界文化遺産として登録された富岡製糸場の敷地にあり、国宝に指定されている「西置繭所」の保存修理工事を見学できる施設がこの時期公開されており、3階からは屋根の補修作業などが見られました。歴史的なまち並みを支える建造物のメンテナンスの大切さと日本の高度な技術を再確認できました。

桐生市には、文化庁が平成27年度から認定を始めた日本遺産の一つ、「かかあ天下ーぐんまの絹物語」を構成する文化財のうち半分があります。中でも伝統的建造物群保存地区に選定され、江戸以前から経済発展を支えてきた桐生織物の中心地である桐生新町は、地元の方のおもてなしの心がとてもあたたかな印象で、観光地としての魅力がありました。当市も「中町伝統的建造物群保存地区」の日本遺産認定を目指し、おもてなしの心を育み、素敵な場所と人の魅力アップでリピーターを増やすことで活性化に繋げていかなければならないと考えます。



●議員活動報告

自民・公明クラブ

(中田 博文・工藤 俊広)
(北山 一衛)

黒石市民クラブ

(福士 幸雄・工藤 和子)
(佐々木 隆)

高佑会

(高橋美紀子)

視察先

東京都渋谷区
(H28年2月28日)

【第16回地域伝統芸能まつりの視察】について

東京都のNHKホールで開催され、黒石ねぶた祭りが出演した地域伝統芸能まつりを7人の議員が視察しました。地域伝統芸能まつりには第10回の開催時に黒石よされが出演しており、今回の黒石ねぶた祭り出演は当市にとって2度目の出演となりました。正調黒石ねぶたばやし保存会、境松ひまわり子供会、黒石市役所ねぶた愛好会の皆さんが、全国の代表8団体が出演する中でトリを務めました。会場では東京黒石会の皆さんも横断幕を掲げ大声援を送っていました。今回のテーマ「和～踊り、祈り、癒し、和む～」の最後を彩った2台のねぶたと共に出演されたすべての皆さんが素晴らしい活躍ぶりであり、会場の観衆に大きな感動を与えていました。

地域に根差した伝統の祭りは歴史を守り続ける多くの人々の熱い思いで支えられており、全国にはより厳しい環境の中で伝統を守り伝えている人達がいると感じました。



北海道新幹線開業記念式典に出席

平成28年3月26日に青森市で北海道新幹線新青森・新函館北斗間開業記念式典が開催され、当市議会からは工藤俊広副議長が出席しました。式典には、三村県知事や本県選出の国会議員、JR北海道・東日本など関係団体の代表らが出席し、本州と北海道を結ぶ待望の新幹線開業を祝福しました。来賓挨拶、鏡開きが行われた後、出席者約250人が万歳三唱で青函交流のさらなる発展と活性化を誓いました。

北海道新幹線の開業に加え、青森空港と中国（杭州・天津）を結ぶ定期航空路線が新たに就航予定となっていることから、当市における交流人口はこれから増加していくことが予想されます。これらに対応するため、市議会においても新幹線開業効果を最大限に生かす取り組みを求める一般質問や、インバウンド戦略に対する意見や要望をしています。



記念式典の様子



第8回議会報告会

アンケート結果等を紹介

平成27年12月19日に第8

回「議会報告会」が開催されました。当日は、多くの市民の皆さんの参加があった他、初の試みとなった高校生との意見交換にたくさんの方々が参加してくれました。

今号では、アンケート調査の結果や、市民の皆さんと高校生からのご意見から、主な内容を紹介いたします。

アンケート結果

◎参加者41人（男29人・女12人）

1 今回の議会報告会はいかがでしたか。

- ・よかった：54・8割
- ・まあまあ：32・3割
- ・あまりよくなかった：3・2割

2 議会報告会の開催は、年に何回が妥当だと思いますか。

- ・1回：3・2割
- ・2回：41・9割
- ・3回：12・9割
- ・4回：32・3割



意見を述べる高校生

3 あなたは、黒石市議会を身近なものと感じていますか。

- ・はい：61・3割
- ・いいえ：16・1割

4 今回の議会報告会について

【悪い点】

- ・質問等がもっとできるような雰囲気を出してほしい。
- ・報告会に参加された市民の数が少なすぎると思う。
- ・もっと多くの市民に呼びかけて、議会がやっている事を知らせるべきだと思います。
- ・議員の間でもめないで、党派関係なく黒石をどうする

かをしっかり考えること。

【良い点】

- ・高校生がきただけでうれしかった。未来に光を見た。
- ・高校生の質問に議員の皆さんが丁寧に回答していただき、責任ある誠実な「大人」を示していただいた。学校だけでは決して得られない効果があったと考えます。

高校生との意見交換

【Q】若者の政治離れに対してどのような対策を考えているのか。（高校生）

【A】選挙管理委員会によるさらなる啓発活動や、選挙立ち合い人の公募制による若者の参加などを要望しています。今後もしばらく若者が政治に関心を持ってもらえるか、また、投票率が上がるかを考えていきます。（市議会）

【Q】選挙権の年齢引き下げにより、どのようなメリットが考えられるか。（高校生）

【A】世界の9割は18歳で選挙権を得ているという国際的な目で見ると、18歳で国の地方自治の運営に関わる人間を選ぶ権利、そして若い世代の意見も政治へ反映さ



報告会会場の様子

れるメリットがあると思います。あとは多くの方が政治に関心を持ち、政治を監視するという感覚で選挙において国民の権利を行使していただきたいと思います。今日の黒石高校の皆さんとの意見交換も、いままでとは違う観点で政治を捉える大きなきっかけとなり、大きなメリットになっていると思います。（市議会）

◆ ◆ ◆
市議会では、平成24年から議会報告会を年に2回開催しています。市民の皆さんから寄せられた貴重なご意見は、今後の議会活動の参考にし、役立てていきますので、議会報告会へ多くの市民の皆さんの参加をお待ちしています。開かれた議会構築のため、ご協力をお願いします。

編集後記

議会では、市民の皆様身近で大切な案件がたくさん話し合われています。

この議会だよりは、年4回開催される定例会の内容について少しでも知っていただきたいの思いから発行し、各家庭にお配りさせていただいているものです。市政や議会に関心を持っていただければ、より分かりやすい紙面づくりを目指すとともに、広報力アップに努めてまいります。皆様のご意見をお待ちしております。

工藤 和子

議会だより 編集特別委員会

- 委員長 工藤 俊広
- 副委員長 大久保 朝泰
- 委員 工藤 和子
- 委員 高橋 美紀子
- 委員 今 大介
- 委員 三上 廣大

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-10396
 黒石市大字市ノ町11番地1号
 電話 0172-5212129
 FAX 0172-5317410